



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッチツ  
コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩谷 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部総務部長 (氏名) 松井 慎一

TEL 03-5561-6200

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,290	1.0	366	14.6	374	△28.3	239	△30.8
27年3月期第3四半期	7,220	7.9	319	60.4	522	58.5	346	97.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 184百万円 (△63.1%) 27年3月期第3四半期 500百万円 (62.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	11.27	—
27年3月期第3四半期	16.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	16,810	11,712	69.7	551.03
27年3月期	17,131	11,666	68.1	548.83

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,712百万円 27年3月期 11,666百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	3.50	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	△1.7	460	△11.8	450	△41.7	270	△55.7	12.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	21,300,000 株	27年3月期	21,300,000 株
28年3月期3Q	43,961 株	27年3月期	43,328 株
28年3月期3Q	21,256,396 株	27年3月期3Q	21,257,610 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2～3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、機械関連については、船用機器の需要が、円高是正を背景とする国内造船所における受注環境の改善により堅調に推移しております。資源関連については、住宅関連資材向け需要が低調に推移し、半導体、情報通信関連分野の需要も、光学関連が回復傾向を示しているものの、半導体関連の回復が遅れております。賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率は低下基調にあります。

上述の如き環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は72億9千万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は3億6千6百万円（同14.6%増）となりましたが、営業外において中国合弁会社の業績低下に伴い持分法による投資損益の悪化等があったことから、経常利益は3億7千4百万円（同28.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億3千9百万円（同30.8%減）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①機械関連事業

船用機器は、国内造船所におけるバルカーなどの新造船の受注回復を背景に、売上は増加いたしました。ハッチカバー関連の大量受注があった前年同期との対比では受注は減少いたしました。産業機器は、売上は一般産業機械や空気予熱機の大口案件の一巡により減少いたしました。受注は製鉄関連の需要が堅調でやや増加いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は49億5千3百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は4億5千2百万円（同41.3%増）となりました。

#### ②資源関連事業

結晶質石灰石の売上は、住宅関連資材向け需要が低調に推移し減少いたしました。半導体封止材などの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）の売上も、光学関連の需要が回復傾向を示したものの、半導体関連の需要回復が遅れるとともに電子材料関連の大口需要が一巡し減少いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は16億3千4百万円（前年同期比3.7%減）、営業損失は1億8千2百万円（前年同期は営業損失6千4百万円）となりました。

#### ③不動産関連事業

新規テナント入居により、稼働率が改善したことに加え、建物メンテナンス費用が減少したこと等から、売上高は8千3百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は2千7百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

#### ④素材関連事業

耐熱塗料の売上は、家電向け等工業用が増加したものの、設備用が低調に推移しやや減少いたしました。また、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の売上が、前年度からの継続案件であるセメント業界向け大口案件の寄与で増加いたしました。下期以降のセメント業界関連の需要減速等が収支圧迫要因となり、素材関連事業全体では、売上高は6億1千9百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は7千万円（同3.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、168億1千万円となり、前連結会計年度末比3億2千1百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金の増加、電子記録債権の増加、仕掛品の増加がある一方、現金及び預金の減少、有形固定資産の減少があったこと等によるものであります。負債合計は50億9千7百万円となり、前連結会計年度末比3億6千7百万円減少いたしました。これは、有利子負債の減少、未払法人税等の減少、流動負債のその他に含まれている未払費用の減少があったこと等によるものであります。純資産合計は117億1千2百万円となり、前連結会計年度末比4千6百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は69.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月6日に公表いたしました内容を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

#### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,651,502	3,277,904
受取手形及び売掛金	2,629,613	2,833,994
電子記録債権	175,249	310,992
商品及び製品	330,423	297,552
仕掛品	730,431	834,246
原材料及び貯蔵品	488,520	468,579
その他	591,708	536,141
貸倒引当金	△7,330	△7,208
流動資産合計	8,590,119	8,552,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,477,966	2,401,487
機械装置及び運搬具(純額)	831,709	757,416
土地	2,407,765	2,405,788
その他(純額)	42,883	44,637
有形固定資産合計	5,760,325	5,609,330
無形固定資産		
投資その他の資産	18,413	19,661
投資有価証券	1,848,474	1,790,142
その他	919,172	840,561
貸倒引当金	△4,585	△1,554
投資その他の資産合計	2,763,060	2,629,149
固定資産合計	8,541,800	8,258,141
資産合計	17,131,919	16,810,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	900,362	929,856
短期借入金	1,750,042	1,384,624
未払法人税等	130,231	16,126
賞与引当金	89,653	24,775
役員賞与引当金	13,000	9,750
受注損失引当金	19,424	5,031
工事損失引当金	39	—
環境安全対策引当金	—	210
その他	930,738	935,618
流動負債合計	3,833,491	3,305,993
固定負債		
長期借入金	77,788	275,377
役員退職慰労引当金	103,694	106,973
環境安全対策引当金	49,183	38,149
退職給付に係る負債	731,195	696,662
資産除去債務	55,342	55,644
その他	614,863	618,891
固定負債合計	1,632,066	1,791,698
負債合計	5,465,557	5,097,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	9,007,213	9,108,588
自己株式	△10,397	△10,532
株主資本合計	10,908,072	11,009,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564,369	522,697
繰延ヘッジ損益	205	△268
為替換算調整勘定	212,627	198,504
退職給付に係る調整累計額	△18,912	△17,593
その他の包括利益累計額合計	758,289	703,339
純資産合計	11,666,361	11,712,653
負債純資産合計	17,131,919	16,810,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	7,220,456	7,290,973
売上原価	5,979,199	5,994,494
売上総利益	1,241,257	1,296,478
販売費及び一般管理費	921,669	930,320
営業利益	319,587	366,158
営業外収益		
受取利息	1,676	1,392
受取配当金	33,238	40,970
持分法による投資利益	175,748	—
その他	63,774	38,912
営業外収益合計	274,437	81,274
営業外費用		
支払利息	12,781	10,562
持分法による投資損失	—	16,109
休廃止鉱山管理費	44,192	33,318
その他	14,881	13,217
営業外費用合計	71,855	73,207
経常利益	522,170	374,226
特別利益		
固定資産売却益	754	6,469
受取保険金	—	52,654
特別利益合計	754	59,123
特別損失		
固定資産処分損	16,302	11,130
固定資産圧縮損	—	39,086
減損損失	1,011	1,791
関係会社出資金評価損	36,382	—
その他	2,670	5,550
特別損失合計	56,366	57,558
税金等調整前四半期純利益	466,557	375,791
法人税、住民税及び事業税	81,042	79,864
法人税等調整額	39,188	56,384
法人税等合計	120,230	136,248
四半期純利益	346,327	239,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	346,327	239,542

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	346,327	239,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115,454	△41,671
繰延ヘッジ損益	△760	△473
退職給付に係る調整額	20,858	1,319
持分法適用会社に対する持分相当額	19,016	△14,123
その他の包括利益合計	154,569	△54,949
四半期包括利益	500,896	184,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,896	184,593
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,895,158	1,697,084	72,171	556,041	7,220,456	—	7,220,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	144	—	7,687	7,831	△7,831	—
計	4,895,158	1,697,228	72,171	563,728	7,228,287	△7,831	7,220,456
セグメント利益又は損 失(△)	319,989	△64,205	△8,163	73,104	320,724	△1,136	319,587

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去571千円、全社費用△1,707千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,953,512	1,634,561	83,652	619,246	7,290,973	—	7,290,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	213	—	9,853	10,066	△10,066	—
計	4,953,512	1,634,774	83,652	629,100	7,301,040	△10,066	7,290,973
セグメント利益又は損 失(△)	452,238	△182,846	27,457	70,706	367,555	△1,396	366,158

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去540千円、全社費用△1,936千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含めていた耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等の「素材関連事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

このため、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。